

# 研究実施のお知らせ

2022年12月26日 ver.1.0.

## はじめに

研究の対象となる方のうち、様々な事情により連絡をとらせていただくことが困難な方へむけて、今回の研究についてお知らせいたします。

## 研究課題名

濾胞性リンパ腫の再発・形質転換における臨床的特徴およびその予測因子の探索

## 研究の対象となる方

2010年1月1日から2021年12月31日の間に、当院で濾胞性リンパ腫に対する治療を受けられた方です。

## 研究の目的・意義

濾胞性リンパ腫の患者さんでは、早期再発や組織学的形質転換（進行のはやいタイプのリンパ腫に変わることを来した場合の治療成績が悪いことが知られています。このことは、治療経過中に起こる事象であるため、治療を受ける前にはわからないことが問題になっています。もし、早期に再発することや進行のはやいタイプのリンパ腫に変わることが、あらかじめ予測することができれば、治療方法を工夫するなどの措置をとれる可能性があり、患者さんにとっても有益なことと考えます。

本研究では、濾胞性リンパ腫患者さんの症状や検査データ、治療内容や経過などを詳細に調べることで、濾胞性リンパ腫を発症された患者さんをより適切に診療するための手がかりをみつけ、今後の診療に役立つ情報を社会に還元することを目的としています。

## 研究の方法

この研究は、京都第一赤十字病院で行います。対象となる患者さんのカルテ情報を用いて、疾患の特徴、治療内容、患者さんの予後・合併症などを検討します。あなたの個人情報をご本人が特定できる形で使用することはありません。具体的な個人情報の取り扱いについては、研究用に収集する情報を患者さんの氏名や患者ID（診察券番号）とは、きりはなして保管します。その際、収集した情報が全く誰のものかわからなくなってしまうと、正しく情報が収集されたか確認できなくなるため、ひとりひとりの情報ごとに研究用に新しく符号をつけます。個人と符号化された情報を対応させる対応表は、研究責任者が厳重に管理し、他の機関へ提供されることはありません。

今回、カルテから収集する情報は以下のとおりです。

- ① 濾胞性リンパ腫診断時の状況（年齢、性別、全身状態など）
- ② 濾胞性リンパ腫診断時の検査データ
- ③ 病理検査結果（採取された組織について顕微鏡を用いて診断する検査）
- ④ 濾胞性リンパ腫発症時に併せ持っていた疾患、既往症
- ⑤ 画像検査（CT、PET-CT、その他おこなわれた画像検査）
- ⑥ 濾胞性リンパ腫の治療・治療効果・有害事象
- ⑦ 悪性リンパ腫の病状経過（再発有無、再発後治療、死因など）
- ⑧ その他

## 研究の期間

2023年1月（研究許可後）～2023年12月31日

## 研究組織

### ●研究代表者（総括責任者）

京都第一赤十字病院 血液内科 内山 人二

### ●研究分担者

京都第一赤十字病院 血液内科 古林 勉

京都第一赤十字病院 血液内科 岩井 俊樹

京都第一赤十字病院 血液内科 松本 洋典

京都第一赤十字病院 血液内科 加藤 大思

## 情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人・患者さんご本人の保護者または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。なお、利用停止のお申し出は、2023年12月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

## 相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

相談窓口

京都第一赤十字病院 血液内科 古林 勉

〒605-0981 京都市東山区本町 15-749

電話 075-561-1121 FAX 075-561-6308